

所 属	理工学部	氏 名	杉町 信行
研究名	高速ネットワークにおけるトラヒック制御に関する研究		
キーワード (4～6語)	ATM ネットワーク、トラヒック制御、ABR サービス、 プロトコル、スループット		
<p>研究の概要</p> <p>単位時間あたりに大量の情報を伝送することが可能な高速ネットワークにおいて、ネットワークリソースを有効に利用し、効率よく伝送するためのトラヒック制御に関する研究で、具体的な通信技術としては ATM(非同期転送モード)ネットワークを対象としている。特に、呼受付制御(CAC)や ABR サービスにおけるトラヒック制御技術に関して考察している。</p> <p>研究の特色</p> <p>現在、インターネットやコンピュータの発展に伴い、動画像や高精細画像の伝送など、大量のデータを高速に送ることが求められている。しかし、高速なネットワークになるほど、輻輳(混雑)が発生すると大量の情報が失われる可能性があるため、それを防ぐためのトラヒック制御は重要な技術である。本研究は、ATM という通信技術を用いたネットワークにおいて、いかに輻輳を抑え、データの損失を小さくし、効率よく低速から高速な伝送サービスを行うかといった問題について考察するものである。</p>			